

# ムギ類赤かび病情報第3号

令和5年3月16日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 防除適期（開花始期～開花期）を 逃さないように防除しましょう！

ムギ類赤かび病における感染予防のための防除適期は、開花を始めた時期から開花期（1穂につき数花開花をしているものが、全穂数の40～50%に達した日）までの間です。名古屋地方气象台3月16日発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高くなり、特に、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みとされています。そのため、作物の生育が早まることが考えられ、特に早い作型の地域では近日中に開花期に入る可能性があります。ほ場ごとの生育状況に注意し、表を参考にしながら防除適期を逃さないように防除を実施しましょう。

また、出穂期以降に曇天・小雨が続き、気温が高くなるなど、多発しやすい条件となった場合には、1回目（開花期）の防除から7～10日後に2回目の防除を実施しましょう。

表 ムギ類赤かび病の主な防除薬剤

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	FRACコード
	トップジンM水和剤	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	散布	1
	トップジンMゾル				
小麦	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	散布	3
	ミラビスフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	散布	7
	チルト乳剤25	収穫3日前まで	3回以内	散布	3
麦類	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	散布	3
	チルト乳剤25	収穫21日前まで	1回	散布	3
大麦	シルバキュアフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	散布	3
	ミラビスフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	散布	7

### (無人航空機用)

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	FRACコード
小麦	トップジンMゾル	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	無人航空機 による散布	1
	チルト乳剤25	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機 による散布	3
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	無人航空機 による散布	3
	ミラビスフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	無人航空機 による散布	7
麦類	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機 による散布	3
	チルト乳剤25	収穫21日前まで	1回	無人航空機 による散布	3
大麦	シルバキュアフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	無人航空機 による散布	3
	ミラビスフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	無人航空機 による散布	7

FRACコードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRACコードの詳細は、[https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/code\\_pdf01\\_2022.pdf](https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/code_pdf01_2022.pdf)を参照する。

薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守り、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。